

# 令和 6 年度大府市自立支援協議会研修会 報告書

## 1. 実施状況

○日 時:令和7年 1 月22日(水) 14:00~15:30

○場 所:大府市役所地下会議室 001・002・003

○実施方法:集合形態

○出席者 :31名

## 2. 内容

・大府市では東南アジアや南米の居住者が増加傾向にあり、福祉施設においても利用者並びに両親が外国籍のケースが増えている。しかし、言語・文化的背景・手続き等の違いから、適切な支援が難しいことがある。そこで、多文化共生社会や外国籍の方への適切ななかかわりの実現を目的とし、研修テーマを2か年で「外国籍の利用者・家族への適切ななかかわりを目指して」と設定した。第1回目の令和6年度は、外国籍の方が日本で生活をするための手続きなどの基本的な知識を得ることを目的とした研修を実施。

## 3. 講義「外国籍の利用者・家族と向き合うための基礎知識＜入管・在留手続き編＞」

講師: 名古屋出入国在留管理局 在留支援部門 統括審査官 港 奈緒 氏

### 【講演内容】

- ・在留管理制度について
- ・在留手続きについて
- ・入管庁・地方入管理局の在留支援の取組

## 4. アンケート結果

### ●参加者

- ・福祉サービス事業所 児・者(4名・12名)
- ・医療機関(1名)
- ・行政(6名)
- ・一般市民(1名)
- ・その他(3名)

### ●研修の感想

○とてもよかった(17) よかった(8)

- ・とても分かりやすかった。大変勉強になった。全く知らないことばかりで興味深かった。
- ・言葉が通じないため、分からなかったことを知ることができた。
- ・外国人が日本で暮らすまでに何が必要なのか分かった。
- ・在留カードの仕組みを知ることができた。
- ・手続きが難しいことが多いと思うので、支援者が知識や情報を身につける大切さを知った。
- ・手続きの多さ、複雑さに驚いた。
- ・個別対応が求められる仕事だと思った。

- ・受け入れが整っていないと思った。
- ・特定技能の方について知りたかったので、とてもよく分かった。

### ●来年度研修会への参加希望

- ・参加したい(19)
- ・まだわからない(6)

### ●次年度の研修について

#### ○知りたいこと・聞いてみたいこと

- ・外国籍の障がい者について
- ・外国籍の方の事例
- ・外国の文化的背景や考え方の違い、支援の方向性のヒント
- ・宗教信仰や文化的な考え方の違いをどのように尊重すればよいか
- ・外国籍の方への対応で福祉に求められること
- ・精神バランスを崩した方へのケアなどの事例
- ・家族内で何とかする、他の意見は不要という文化の中でのヤングケアラー等の支援
- ・日本での生活を送る上で必要な支援のポイント、声掛けの方法など

### ●今後取り上げてほしいテーマ・ご意見など

- ・知りたいと思っていたテーマで研修会を開いてもらえた。
- ・考えたことのない視点で勉強になった。
- ・福祉に限らず、外国籍の方が生活する上で必要な制度を学べる機会があるとよい。
- ・永住権取得後も7年ごとの在留カードの更新について大変だと感じた。
- ・日本語が通じず、対応に困り悩んだ時があった。
- ・入院の外国籍患者が増えている。外国人対応に不慣れなスタッフばかりで、病院としての対応ができないことが多い。

